市長あいさつ

安全・安心を実感できるまちづくりを土台に

茨木市長　福岡洋一

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心からお喜び申しあげます。

昨年、本市は、地震、大雨、暴風とさまざまな大きな災害に見舞われ、かつてない不安を抱える1年となりました。改めまして、被災された皆さまに心からお見舞い申しあげます。本市では、「大阪北部地震」の発生直後から、多くの皆さまのお力添えを賜りながら、市民の皆さまの安全確保と速やかな日常生活への回復に向けて、できうる限りの対応・支援に取り組んでまいりました。引き続き、スピード感を持って被害にあわれた方々への支援、災害対応の検証等を進めてまいります。

一方、昨年は市制施行70周年を迎えた年でもありました。この節目の年に、「川端康成青春文学賞」の創設をはじめ、前田敦子さんや高良健吾さんなど著名な方々が出演され、川端文学をモチーフにした映画「葬式の名人」のオール茨木ロケが行われたほか、JR総持寺駅の開業、茨木松ケ本線の開通など、多くの皆さまのご参加・ご参画をいただきながら、「次なる茨木」に向けた新たなまちづくりを推進することができました。

これまでから、社会実験に参加いただくなど皆さまと共に検討を重ねてまいりました「市民会館跡地エリア」については、年明けから元市民会館の解体工事に取りかかるとともに、名実ともに本市の象徴たる中心地となるよう取り組んでまいります。また、同じく最重要課題の一つ、待機児童問題についても引き続き入所児童の受入れ体制の拡充に努めるとともに、「ひとりも見捨てない全国トップレベルの教育」についてもさらに推進してまいります。

本年も、市民の皆さまが安全・安心を実感できるまちづくりを土台に据えつつ、豊かさ・幸せを実感できるまちづくりに全力を傾注してまいりますので、変わらぬご指導とご協力をお願い申しあげまして、新年のごあいさつといたします。

芸術の秋、という言葉をよく耳にしますが、芸術は秋だけのものではありません。特に茨木には、街中にたくさんのアート作品があって、季節を問わず一年中芸術鑑賞が楽しめます。またアートイベントなど芸術活動も盛んです。今月は、そんな茨木のアートを紹介します。

問合先　文化振興課☎620・1810

発展する茨木アート

アートあふれるまちは活気あるまち

まちを歩いているときに、モニュメントや彫刻などのアートを見かけたことはありませんか。阪急南茨木駅前の「サン・チャイルド」（ヤノベケンジさん作）や阪急茨木市駅前の「虹の塔」（木村光佑さん作）など、茨木にはたくさんのアート作品があります（4・5ページ参照）。また、市民を中心とした文化芸術団体も数多く活動しています。このように芸術活動が盛んに行われることで、まち全体が活気づいていきます。

美術協会長
木村光佑さん

文化は市民がつくっていく

茨木にはモニュメントや壁画などのアートがたくさんあって、文化的に優れているまちだと思います。私の作品もいくつか設置されているのですが、他の作家の作品も含め、市民に喜ばれ思い出に残るものになって欲しいですね。茨木は山や川があって、普段何気なく見ていたものでも、改めて見つめなおすと新たな魅力が発見でき、作品をつくるヒントになります。

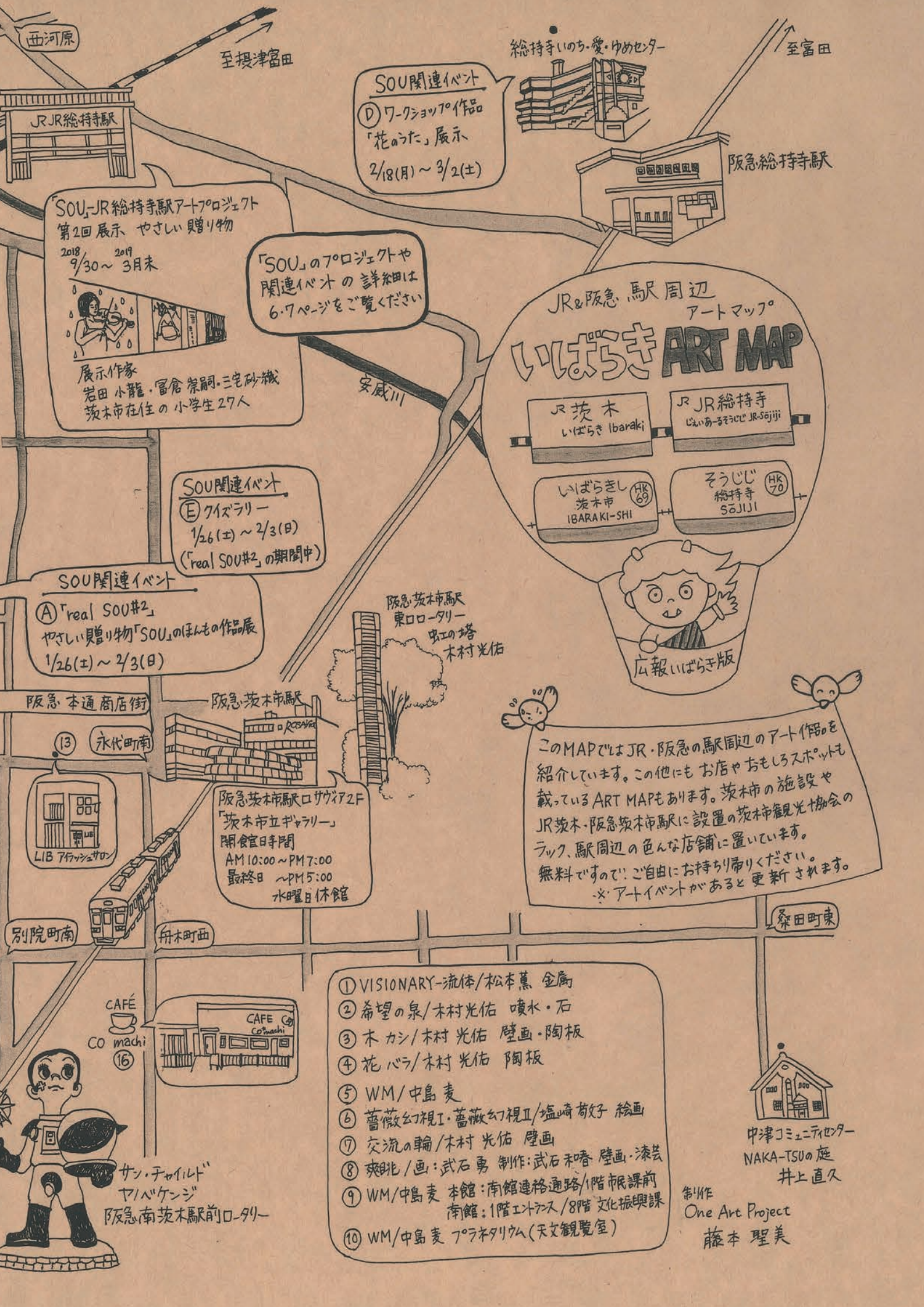
今年で美術協会は70周年を迎えました。アートの発展のため、これまでに展覧会や美術教室など、さまざまな活動を行ってきました。特に、毎年市と共催している市美術展は、周辺自治体の中でも大規模な展覧会となっています。文化は市民がつくっていくものです。協会がその中心になれるよう、今後も積極的に活動を続けていきます。

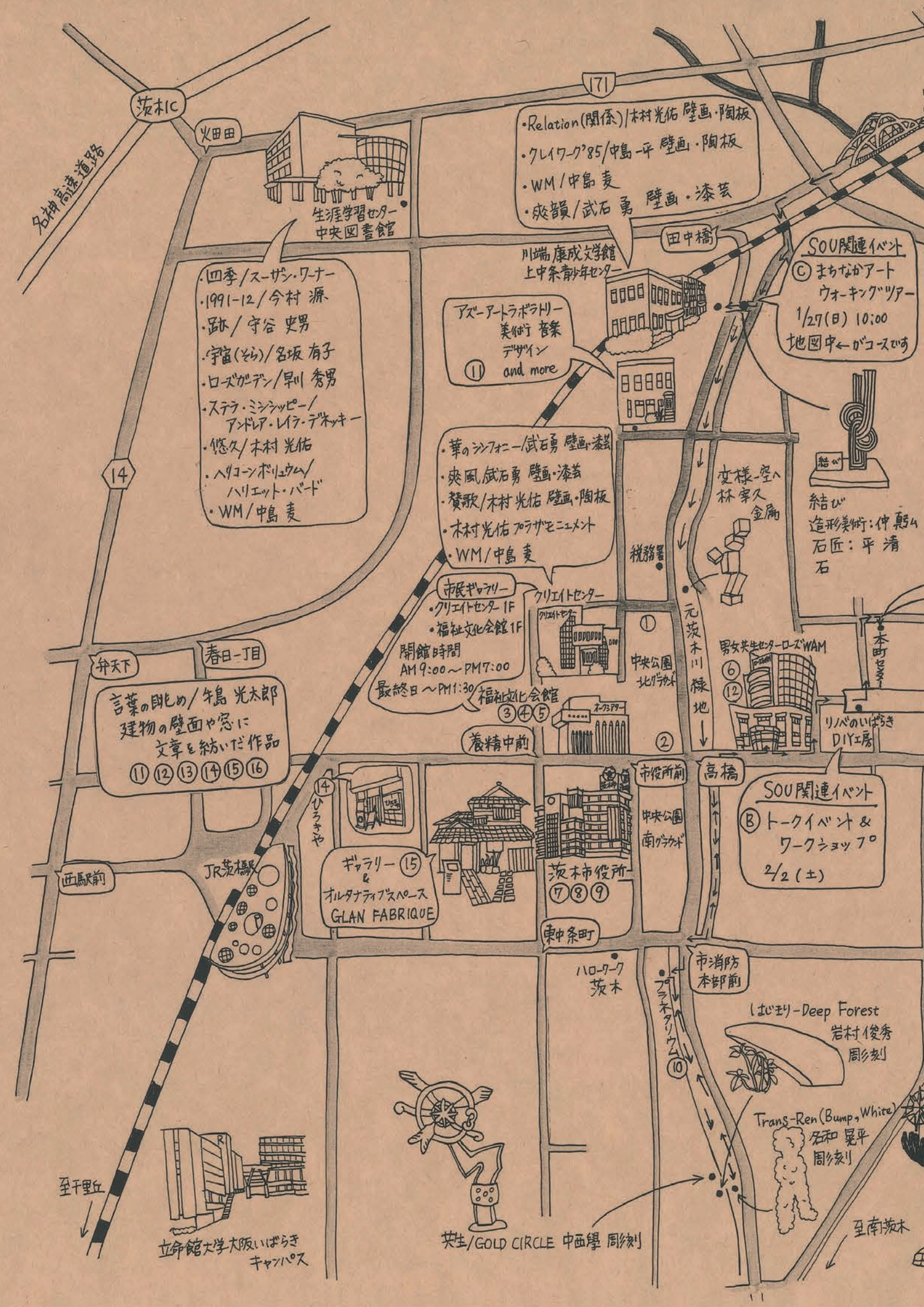
アートと市民をつなぐ

市ではこれまでにさまざまなアートの取組みを行ってきました。美術展や写真展、自由な表現が特長の現代美術展（関連イベントのミニアチュール展は22ページ参照）だけでなく、子ども向けのワークショップなど、内容や対象は多種多様です。そのほかにも、公共施設や公園などにモニュメントや彫刻作品を設置してきました。平成20年（2008年）からは、「Trans-Ren(Bump, White)」（名和晃平さん作）など、元茨木川緑地を中心に5つの作品を設置しました。

Trans-Ren
(Bump, White)

さらに平成25年（2013年）には、人・まち・アートをつなぎ、地域の活性化をめざす、HUB-IBARAKI ART事業を開始。公募などで選定された作家の作品の設置やイベントの開催などに取り組んできました。期間限定の設置もありましたが、現在は、「言葉の眺め」（牛島光太郎さん作）がローズWAM（ワム）やお店の窓ガラスに、「WM（ム）」（中島麦さん作）が市役所などの公共施設の壁面や備品に展示され、アートな環境をつくっています。


西河原
至摂津富田
JR JR総持寺駅
総持寺いのち・愛・ゆめセンター
至富田
阪急総持寺駅
SOU関連イベント
Ⓓ ワークショップ作品
「花のうた」展示
2/18(月)～3/2(土)
「SOU」-JR総持寺駅アートプロジェクト
第2回 展示、やさしい贈り物
2018 9/30～2019 3月末
展示作家
岩田 小龍・冨倉 崇嗣・三宅砂織
茨木市在住の小学生27人
「SOU」のプロジェクトや
関連イベントの詳細は
6・7ページをご覧ください
安威川
JR&阪急 駅周辺
アートマップ
いばらきART MAP
JR 茨木
いばらき Ibaraki
JR JR総持寺
じぇいあーるそうじじ JR-Sōjiji
いばらきし 茨木市 IBARAKI-SHI
HK 69
そうじじ 総持寺 SŌJIJI
HK 70
広報いばらき版
SOU関連イベント
Ⓔ クイズラリー
1/26(土)～2/3(日)
(「real SOU#2」の期間中)
SOU関連イベント
Ⓐ「real SOU#2」
やさしい贈り物「SOU」のほんもの作品展
1/26(土)～2/3(日)
阪急茨木市駅
東口ロータリー
虹の塔
木村光佑
阪急 本通商店街
阪急茨木市駅
ROSAVIA
13
永代町南
LIB アイラッシュサロン
阪急茨木市駅ロサヴィア2F
「茨木市立ギャラリー」
開館日時間
AM10:00～PM7:00
最終日 ～PM5:00
水曜日休館
このMAPではJR・阪急の駅周辺のアート作品を
紹介しています。この他にもお店やおもしろスポットも
載っているART MAPもあります。茨木市の施設や
JR茨木・阪急茨木市駅に設置の茨木観光協会の
ラック、駅周辺の色んな店舗に置いています。
無料ですので、ご自由にお持ち帰りください。
※アートイベントがあると更新されます。
桑田町東
別院町南
舟木町西
CAFÉ
CO machi
16
CAFE Co machi
サン・チャイルド
ヤノベケンジ
阪急南茨木駅前ロータリー
① VISIONARY-流体/松本薫 金属
② 希望の泉/木村光佑 噴水・石
③ 木 カシ/木村 光佑 壁画・陶板
④ 花 バラ/木村 光佑 陶板
⑤ WM/中島 麦
⑥ 薔薇幻視Ⅰ・薔薇幻視Ⅱ/塩崎 苟子 絵画
⑦ 交流の輪/木村 光佑 壁画
⑧ 爽晴/画:武石 勇 制作:武石 和嗜 壁画・漆芸
⑨ WM/中島 麦 本館:南館連絡通路/1階市民課前
南館:1階エントランス/8階 文化振興課
⑩ WM/中島 麦 プラネタリウム(天文観覧室)
中津コミュニティセンター
NAKA-TSUの庭
井上 直久
制作
One Art Project
藤本 聖美


名神高速道路
茨木IC
171
火田田
生涯学習センター
中央図書館
・Relation(関係)/木村光佑 壁画・陶板
・クレイワーク'85/中島一平 壁画・陶板
・WM/中島麦
・爽韻/武石勇 壁画・漆芸
田中橋
川端康成文学館
上中条青少年センター
SOU関連イベント
Ⓒ まちなかアート
ウォーキングツアー
1/27(日) 10:00
地図中←がコースです
・四季/スーザン・ワーナー
・1991-12/今村源
・跡/守谷史男
・宇宙(そら)/名坂有子
・ローズガーデン/早川秀男
・ステラ・ミシシッピー/
アンドレア・レイラ・デネッキー
・悠久/木村光佑
・ヘリコーンボリュウム/
ハリエット・バード
・WM/中島麦
アズーアートラボラトリー
美術 音楽
デザイン
⑪ and more
14
・華のシンフォニー/武石勇 壁画・漆芸
・爽風/武石勇 壁画・漆芸
・賛歌/木村光佑 壁画・陶板
・木村光佑 プラザモニュメント
・WM/中島麦
変様-空へ
林宰久
金属
結び
造形美術:仲慶ム
石匠:平清石
税務署
市民ギャラリー
・クリエイトセンター 1F
・福祉文化会館 1F
開館時間
AM9:00～PM7:00
最終日～PM1:30
クリエイトセンター
①
中央公園
北グラウンド
元茨木川緑地
男女共生センターローズWAM
⑥⑫
本町
弁天下
春日一丁目
言葉の目ぬ/牛島光太郎
建物の壁面や窓に
文章を紡いだ作品
⑪⑫⑬⑭⑮⑯
福祉文化会館
③④⑤
養精中前
②
リノベのいばらき
DIY工房
市役所前
高橋
SOU関連イベント
Ⓑ トークイベント&
ワークショップ
2/2(土)
14
ひろきや
中央公園
南グラウンド
西駅前
JR茨木駅
ギャラリー⑮
&
オルタナティブスペース
GLAN FABRIQUE
茨木市役所
⑦⑧⑨
東中条町
ハローワーク
茨木
市消防
本部前
プラネタリウム⑩
しおり-Deep Forest
岩村俊秀
彫刻
Trans-Ren(Bump, White)
名和晃平
彫刻
至千里丘
立命館大学大阪いばらき
キャンパス
共生/GOLD CIRCLE 中西學 彫刻
至南茨木

新たなプロジェクト

JR総持寺駅アートプロジェクト

昨年の3月、新たなアートプロジェクトが始動しました。その名も「SOU（ソウ）」－JR総持寺駅アートプロジェクト－。このプロジェクトは、駅の開業とともに、日常生活の中で、アートに出会い、アートを知るきっかけの場になればという思いから立ち上げられました。

駅改札前の自由通路の壁面

まちにアートが溶け込み、文化として根付く

私たちが取り組んでいる「SOU」－JR総持寺駅アートプロジェクト－では、さまざまなジャンルの作品を皆さんに楽しんでもらうために、こだわりを持って作品を選んでいます。また、通路の壁面や床、照明もギャラリーのような空間になるよう趣向を凝らすことで、作品により存在感を与えています。駅は自然と人が集まり、利用される場所なので、普段アートに触れることのない人にも作品を見てもらうには、絶好の場所だと思います。

さまざまな作品に触れることで、自分の中で新たな感性が芽生えていきます。そのため「SOU」では、同じ作品をずっと展示し続けるのではなく、約半年で作品の入れ替えを行います。「アートは難しい」「何を描いてるのかわからない」とアートに距離をおいてしまう人もいるかと思いますが、「何となく好き」「前の作品の方が良かった」など、少しでも何かを感じてもらいたいです。たくさんの人が色々な作品に触れ、新たな感性が芽生える、その積み重ねによって、まちにアートが溶け込み、文化として根付いていく。そんなプロジェクトにしていきたいです。

今後は写真など展示の幅を広げたり、海外の作家の作品も展示したり、ジャンルや国を超えたさまざまな作品を楽しんでもらいたいと思います。展示以外にも、ワークショップやアートツアーなどのイベントも開催し（左ページ参照）、アートに触れる機会をもっと提供していきたいと思います。

One Art Project
ディレクター
稲垣元則さん

の高さ2.6mに合わせて、絵画や写真、現代アートや児童画などジャンルを超えた作品を拡大プリントして展示しています。展示作品は、約半年を目途に、継続的に入れ替えを行い、現在2回目の展示を行っています。

「やさしい贈り物」

2回目の展示「やさしい贈り物」は、やわらかな時間や物語をテーマに、4つの作品で構成されていて、3月末まで展示しています。今回は、市内小学生の作品も展示。27人の小学生が描いた自分だけの花を一つの作品にしています。

アートに触れる1年に

市では今後も、アートの発展に向けたさまざまな取組みやイベントを開催していきます（下記参照）。茨木は、いつでもどこでも誰でもアートを楽しめるまちです。まちのアートを見て回ったり、イベントに参加したり、自分の作品を展示会に出品してみたり、今年はアートに触れる1年にしてみてはいかがでしょうか。

SOU 関連イベント

【real SOU#2 やさしい贈り物「SOU」のほんもの作品展】 とき 1/26㈯～2/3㈰、10:00～19:00、**ところ** 本町センター（元町8-8）、**内容** 第2回作品の実物と各作家のほかの作品の展示、**備考** 立命館大学生による「BOOK CAFE」を併設

【まちなかアートウォーキングツアー】 とき 1/27㈰、10:00～12:00、**定員** 20人（多数の場合抽選）、**内容** JR総持寺駅から市役所周辺まで、作品を観賞しながら歩く（約3㎞）、**申込** 1/16までに、メール（氏名・住所・年齢・電話番号を記入）で、文化振興課 ✉bunkashinkou@city.ibaraki.lg.jp

【トークイベント「アートプロジェクトから街の活用・再生へ」】 とき 2/2㈯、13:00から、**ところ** DIY工房（元町3-39）、**内容 出演** 龍野アートプロジェクト・アートディレクター 加須屋明子さん

【ワークショップ（アートグッズを作る）】 とき 2/2㈯、15:00から、**ところ** DIY工房、**内容** SOUの作品を使ってトートバックと缶バッチ、**費用** 500円、**備考** 材料がなくなり次第終了

【クイズラリー】 とき 1/26㈯～2/3㈰、**内容** JR茨木・阪急茨木市駅から会場までの各店舗にクイズを設置、参加者にコーヒー1杯プレゼント、**備考** ラリー用紙はJR茨木・阪急茨木市駅、市観光協会のラック設置（「SOU」ホームページからダウンロード可）

各イベントの詳細は問い合せるか、SOUホームページ（https://www.sou-art.com/）をご覧ください（右図読み取り）。**問合先** One Art Project 稲垣 ☎090・5967・4144